

<研究結果の提示について>

NPO 法人 IBD ネットワーク 学術 G

研究者の方々が作成された資料や論文等に関してその権限は研究者の方々にあり、NPO 法人 IBD ネットワーク（以下当法人という）において改変してはいけないことが前提にあります。そのため、当法人や当事者である IBD 患者が理解できる容易度での成果物の提供をお願いしており、以下の取り決めで行うことを理事会で決めております。よろしくご理解の程お願い致します。

「協力依頼票」 「9. 当該研究が、IBD 患者又は、当法人へ貢献できる部分（研究成果物の IBD 患者へ分かりやすい形での情報提供とその情報の当法人の合同会報や HP 開示の有無）」に関するご回答を前提にご確認願います。

1. 合同会報に掲載する「報告」について

- ・合同会報は、「当法人ホームページへの掲載」や、「全国の患者会でもホームページに掲載されたり、各会の会報に転載」されることがございます。
- ・合同会報やホームページ掲載にあたり、どこまでの範囲で掲載可能か等大学側の取り決めは研究者の方々ご自身でご確認をお願い致します。

公開可能な内容の研究概略とは別に、以下のポイントを参考にコメントを A4 1枚程度でご提供ください。

- ・テーマに選んだ理由（研究動機）、当法人に依頼した経過、インタビューやアンケートの意義、研究終了に際してのご自身の感想など、ご記載ください。
- ・この研究の結果を今後どのように生かそうと考えているのかについてもご記載ください。

※IBD 患者が、研究結果に関する資料を読んだ時に「そうか、自分の体験は役に立つんだ」と思えることは、当事者が研究協力をすることの重要なファクターのひとつと考えております。

※患者・家族が理解できるように専門用語や略語は避け、平易な文章でお願い致します。

2. 合同会報への報告以外に、研究成果を我々が知る機会について

- ・卒論や研究等の発表後に、当法人の学術メンバーが報告会の開催をお願いするかどうか決定し、オンライン等で報告のリクエストをさせていただく場合がございます。
- ・研究者の方々から、研究結果について合同会報への報告以外に、オンライン等で報告したい旨の希望がある場合、当法人側で参加希望者の確認・日程調整を致します。オンラインの設定は、研究者の方々に調整をお願いしております。

3. 研究協力の実績として当法人HP（学術協力依頼）への掲載について

当法人のホームページには、以下のように実績を掲載致します。論文が公開された後に、論文のURLを付記するので、リンク先のご連絡をお願い致します。なお掲載時には、「コピー不可」や「問い合わせは直接研究者にお願いする」などの記載致します。

例：研究協力実績

- ・2021年6月 ○○公立大学看護学研究科 修論 テーマ「○○○」アンケート協力。
実施前の意見交換2回 掲載合同会報へ
- ・2022年11月 ○○大学文学部○○学科 卒論、 テーマ「○○○」インタビュー対象5名紹介
実施前の意見交換1回 掲載合同会報へ
- ・2022年12月 ○○大学看護学研究科 修論 テーマ「○○○」インタビュー対象者X名紹介
実施前の意見交換1回 掲載合同会報へ